

平成23年度事業報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

1.事業総括

平成23年度のスタートは、前期終了間際に発生した大地震の混乱が続く中でのスタートとなりました。会員や関係者の中には多大な被害を被った人達も有り、会として支援活動を行える様な体制も整っていない状況の中、活動の継続自体が危ぶまれた時期でもありました。混乱の中4月末に理事会を招集出来、活動の継続を確認しあいました。

活動のスタートは5月と6月に依頼のあったイグネ伐採(有償)でした。団体として当該年度の実施目標に据えた事業を無事に実施する事が出来、お客様からも大変喜んで頂きました。最終的に、本年度目標にしていた3件のイグネ伐採委託作業を実施出来ました。

またストーブの普及活動も、会員や関係団体の支援のもと、遠くは愛知県のお客様にも新規に導入頂き、計8台の地域ブランド薪ストーブの普及が図られ薪の消費拡大に繋がりました。

そして当該年度の一番の収穫は、最大の目標にしていた多くの支援者や応援団を得た事です。常に活動資金に苦慮している中で二つの助成事業が採択され、その資金を有効に使わせて頂きながら2回の大きなセミナーを関係団体の協力のもと連携して開催する事が出来ました。会員をはじめ多くの協力者のおかげで、沢山の方々に参加頂き活動への理解や共感を得られた事は大きな励みになりました。結果、この1年でボランティアを含め21名の新たな仲間が増えた事、築館の「ポリテクカレッジ」に加え「MELON」や「宮城大学」との新たな連携、「河北ウィークリー」や「あいコープみやぎ」の広報協力等様々な関連団体と新たな関係を築けた事は、今後の活動に際し大きな弾みとなる物と確信しております。更に、会員のご好意によりスペースを提供頂き、念願であった活動拠点「間伐材ステーション仙台茂庭」を昨年8月に立上げられた事が23年度全体のベースとしてあります。24年初頭、助成金を活用し石巻市内にも新たな活動拠点ができ活動をスタートさせました。団体の情報発信がままならない状況下で、薪の販売や間伐材製品の製作依頼・出前講座や団体でのボランティア参加の問合せ等、様々な層の方々より連絡を頂く事も多くなりました。情報発信の遅延は24年度の大きな課題ですが、会員や関係団体とのコミュニケーションを図りながら、楽しく安全に充実した活動が出来る様に会の運営をしていきたいと考えております。今後とも会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、総括と致します。

2.事業報告(特定非営利活動に係る事業)

(千円)

事業名	事業内容・成果	予算	収入	支出
間伐材 ステーション 事業	ステーション定例活動(薪作り)：12日間、参加者延べ38名	1,644	890	1,590
	イグネ伐採・搬出：3カ所11日間、参加者延べ36名			
	新たなステーション活動開始(追分温泉)：10日間、参加者延べ36名			
木質バイオマス 普及事業	間伐材活用・薪ストーブセミナー開催：参加者延べ208名	300	5,658	4,258
	薪ストーブの新規導入8台(個人宅・大学・宿泊施設等)			
間伐材利活用事業	ワークショップ・出前講座：5回実施、参加者延べ108名	50	44	0
管理費	活動全体に関する広報・折衝・連絡等(旅費交通費・消耗品費・車両費等)	190	290	422

平成24年3月

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

理事長 蛇口 昌俊